

financial
transparency.

ドイツ銀行AG 2007年度決算 Dr. ヨゼフ・アッカーマン

ドイツ銀行AG取締役会会長

Analyst Meeting

フランクフルト、2008年2月7日

A Passion to Perform.

Deutsche Bank



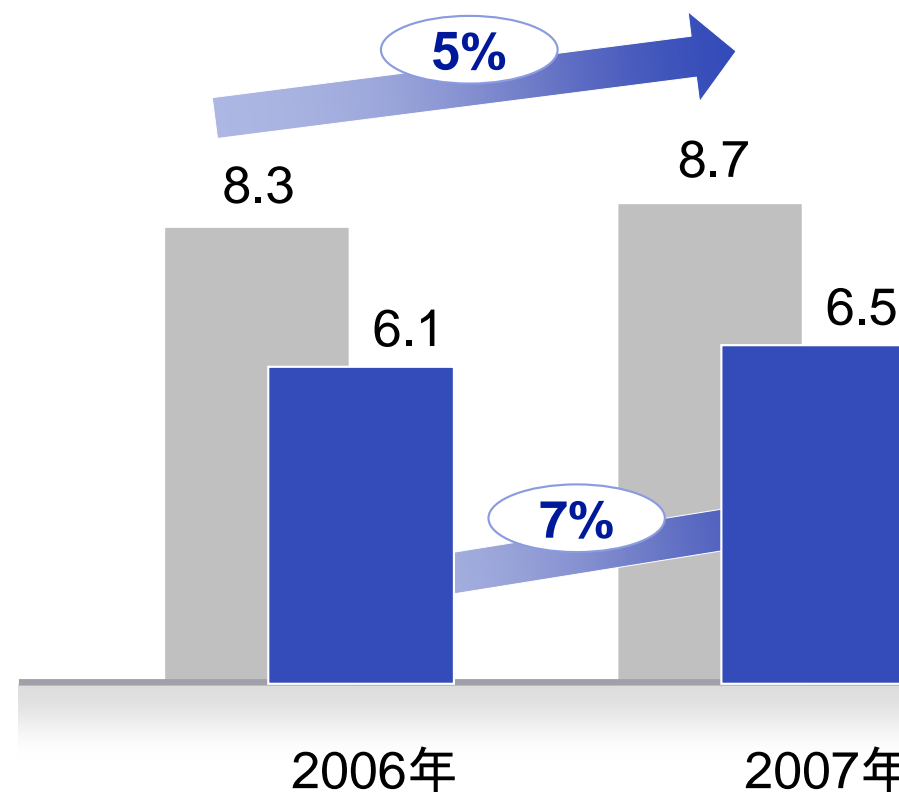
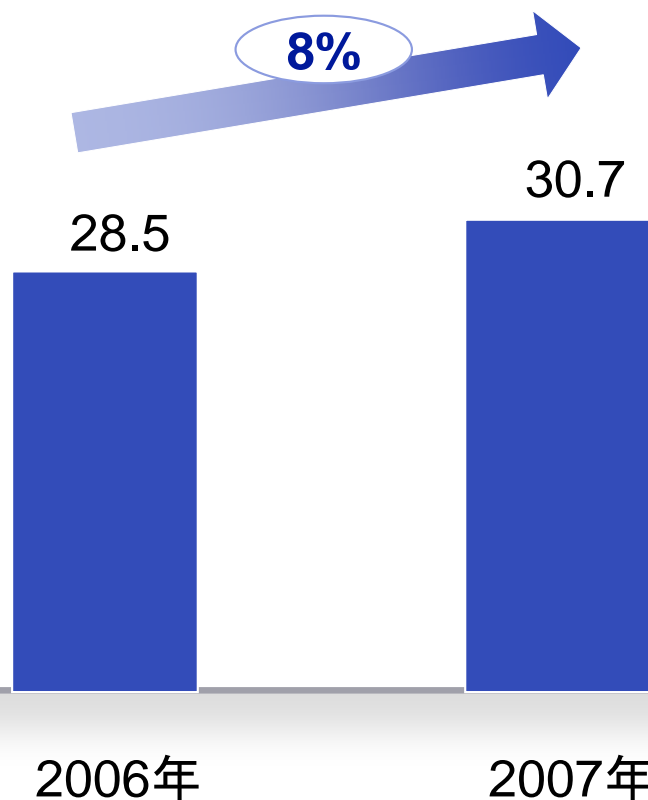


困難な市場環境の中、底固い業績を達成

(単位:10億ユーロ)

収益

利益



■ 税引前利益
■ 純利益

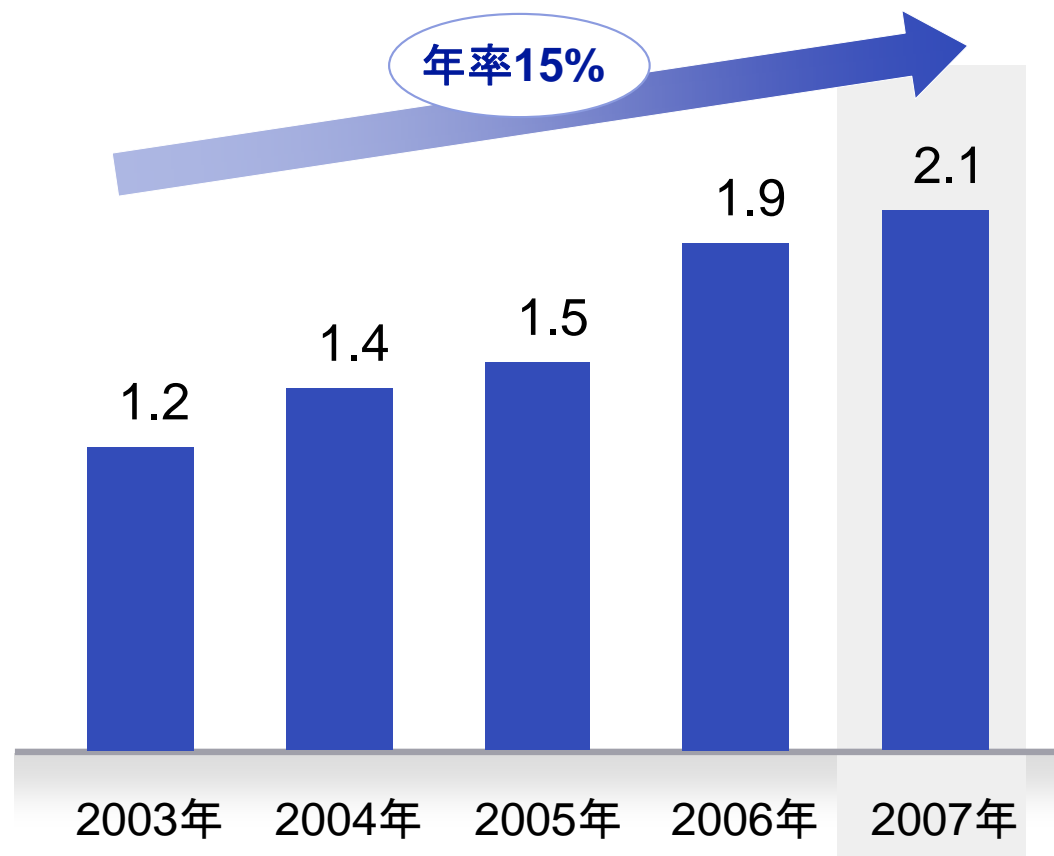
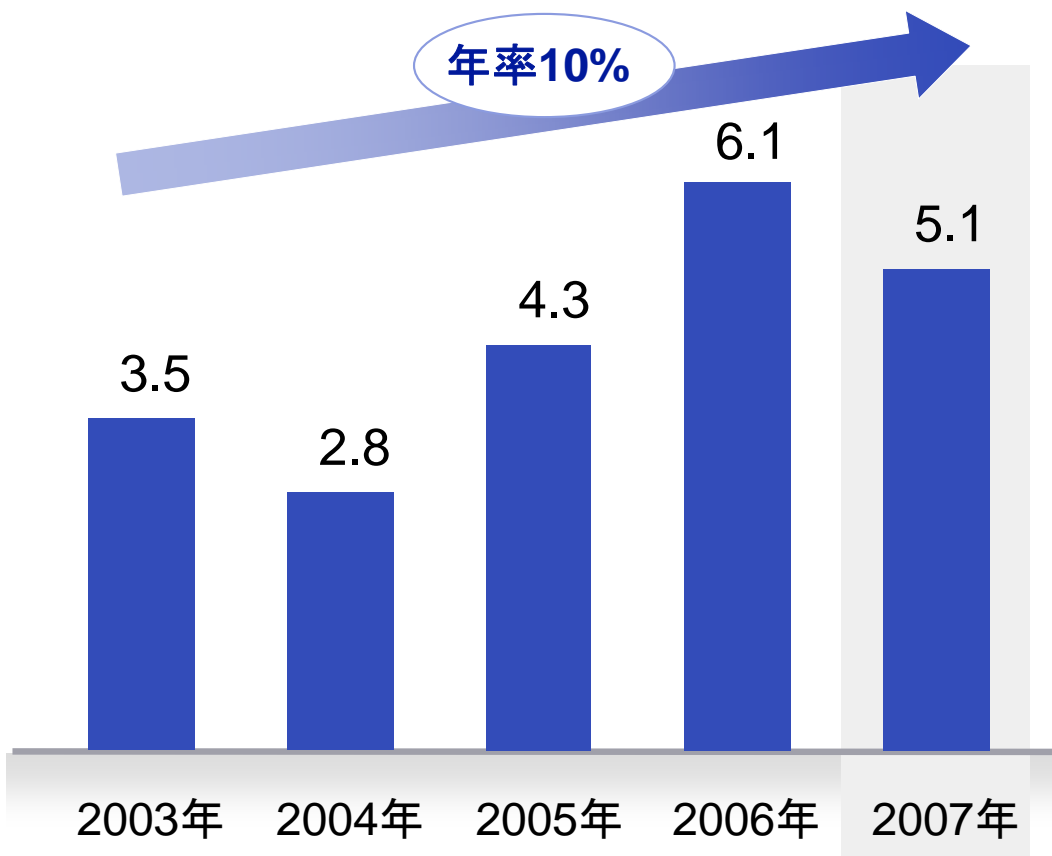


中核ビジネスにおける安定した利益成長

税引前利益(単位:10億ユーロ)

法人・機関投資家向けビジネス(CIB)

個人・資産運用ビジネス(PCAM)

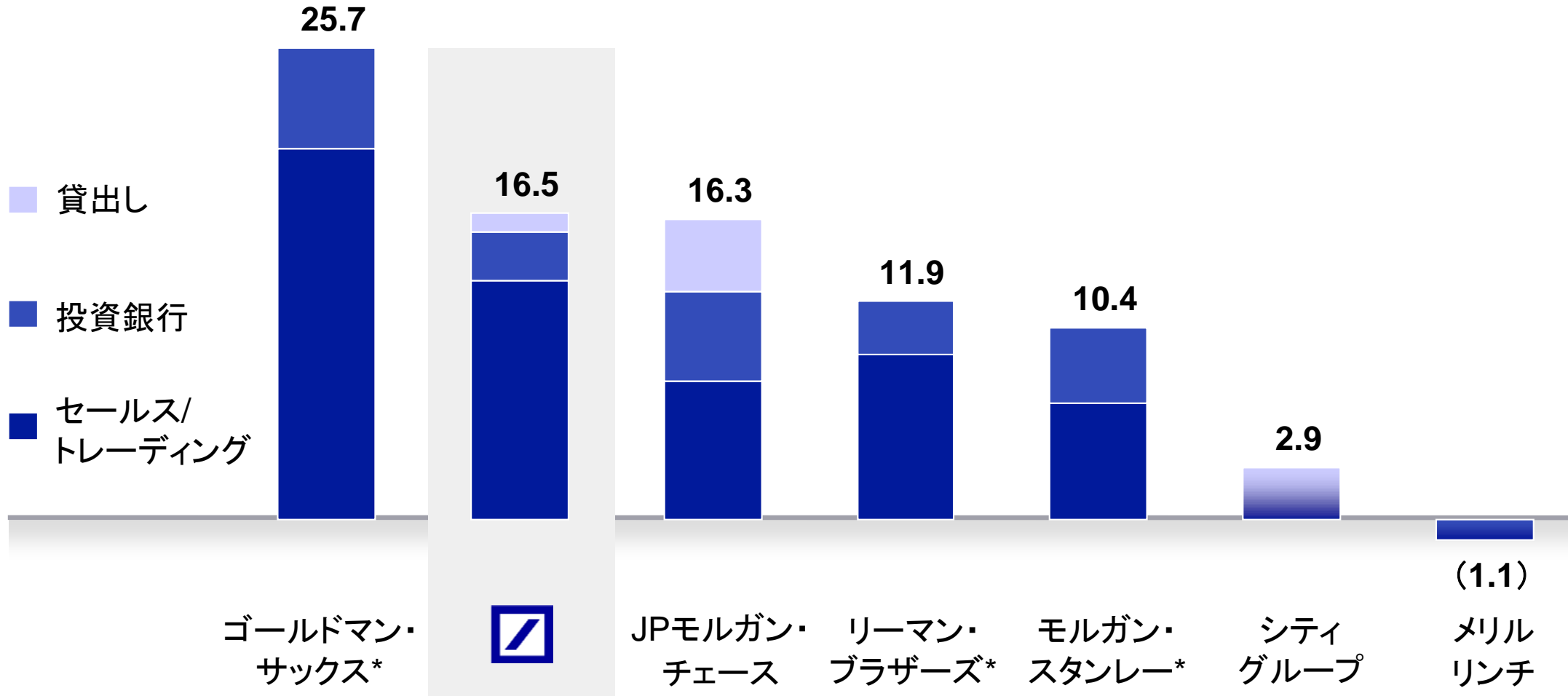


注: 2003-2005年の数値は米国会計基準(U.S. GAAP)に基づき、2003年は2005年の会計基準、また2004-2005年は2006年の会計基準に基づく。
2006年以降においては、国際財務報告基準(IFRS)に基づき、最新の会計基準に基づく。



難しい状況の中、投資銀行ビジネスにおいて主導的地位を維持

2007年コーポレート・バンキング・アンド・セキュリティーズ (CS&S) の収益 (単位: 10億ユーロ)



*決算期に相違

注: ゴールドマン・サックスの数字はプリンシパル・インベストメンツを、モルガン・スタンレーの数字は投資収益を含まない。また、ユーロ建ての数字は、各四半期の報告期間における平均為替レートで換算される。ドイツ銀行のCB&Sの収益はその他の収益も含まれる。シティグループの収益には他部門からの収益の分配も含まれる。

出典: ドイツ銀行

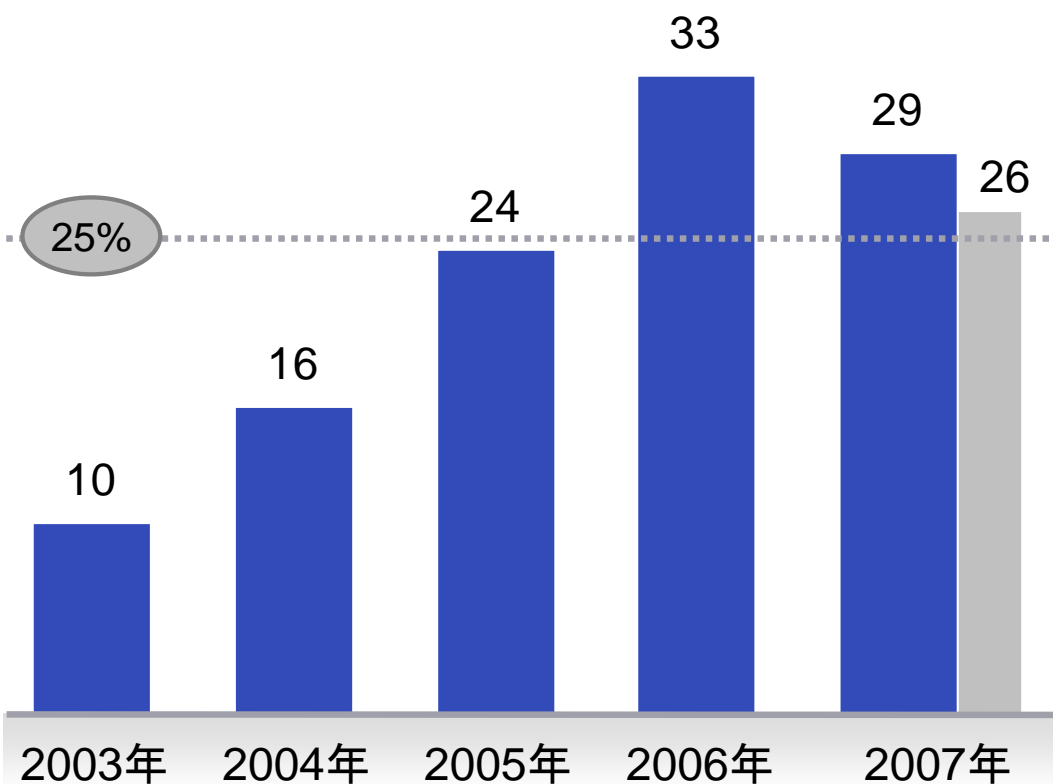


目標の達成

■ 公表値
■ 目標数値

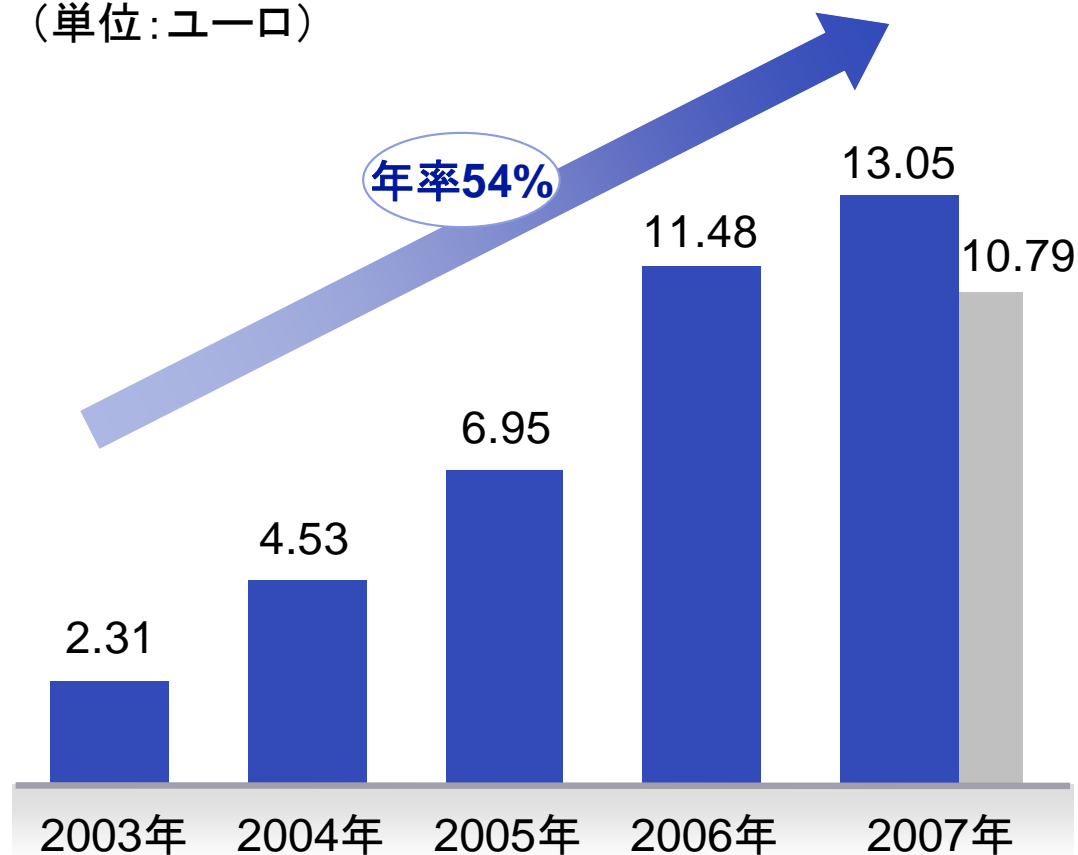
税引前資本利益率

(%)



希薄化後1株当たり純利益

(単位: ユーロ)

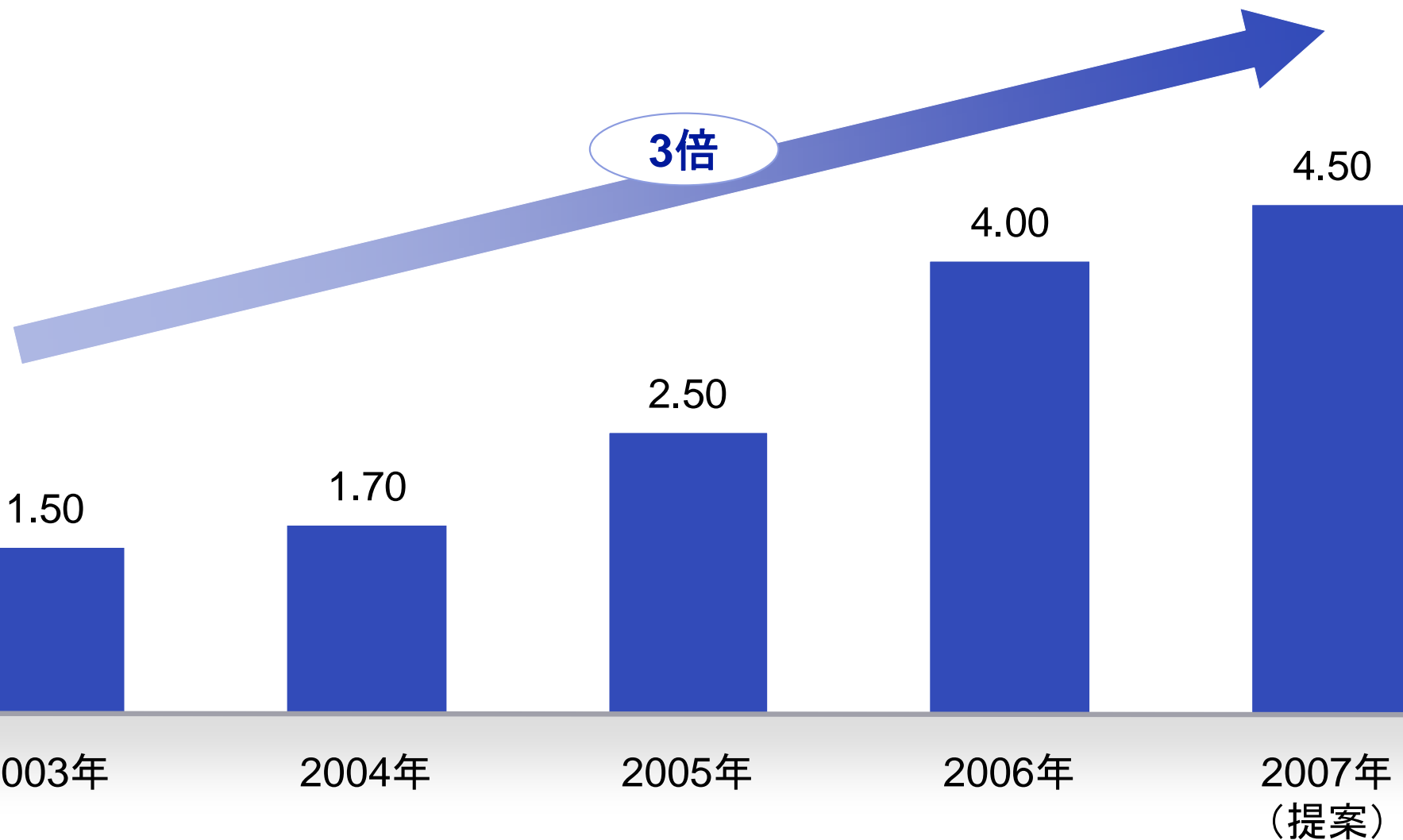


注: 2003-2005年の財務数値においては、米国会計基準(U.S. GAAP)に基づき、2006年以降においては、国際財務報告基準(IFRS)に基づく。



魅力的な配当政策を維持

1株当たり配当(単位:ユーロ)





戦略：従来の方針を貫く

第3段階の経営戦略

2006年～2008年：
グローバルな事業基盤を最大限活用し、加速的成長を目指す

コスト/リスク/資本管理を徹底し、
規則・法令順守の厳格化を図る

組織の成長に向け
中核事業への継続投資と補完的買収を実施

「安定」した収益が期待できる
個人・資産運用ビジネス(PCAM)およびグロー
バル・トランザクション・バンキング(GTB)の
更なる成長

法人・機関投資家向けビジネス(CIB)における
競争優位性を最大限活用

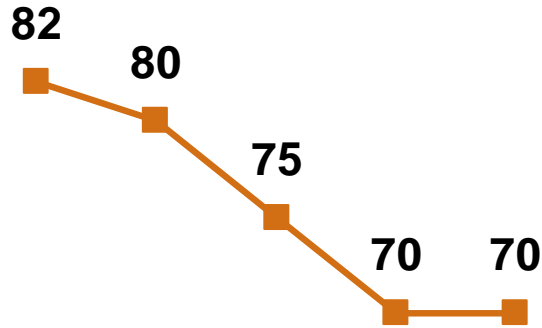


コスト、リスク、資本管理の維持



コスト管理

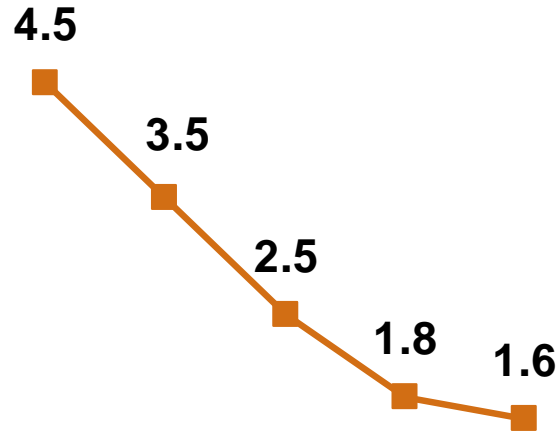
コスト / 収益比率 (%)



'03 '04 '05 '06 '07

リスク管理

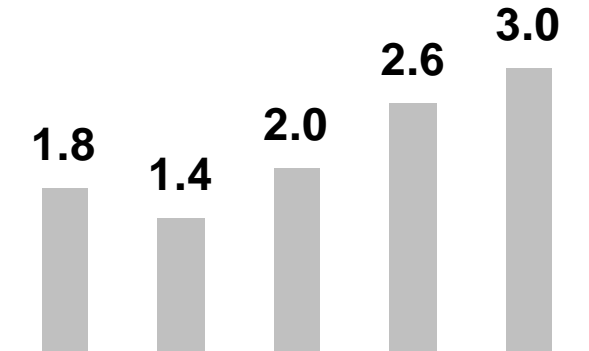
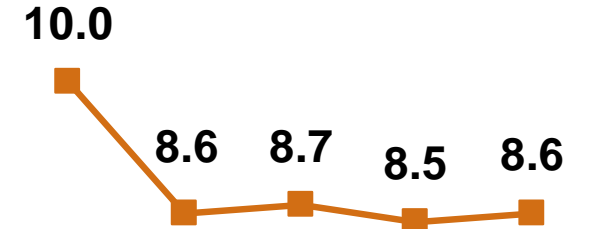
問題債権比率⁽¹⁾ (%)



'03 '04 '05 '06 '07

資本管理

■ BIS規制コア自己資本比率 (Tier 1)⁽²⁾ (%)
■ 含み益⁽³⁾ (単位: 10億ユーロ)



'03 '04 '05 '06 '07

(1) 問題債権を債権総額で除した数値(年末時点)

(2) 旧BIS規制(バーゼルI)に基づく数値(年末時点)

(3) 株式保有する事業会社の数値(年末時点)

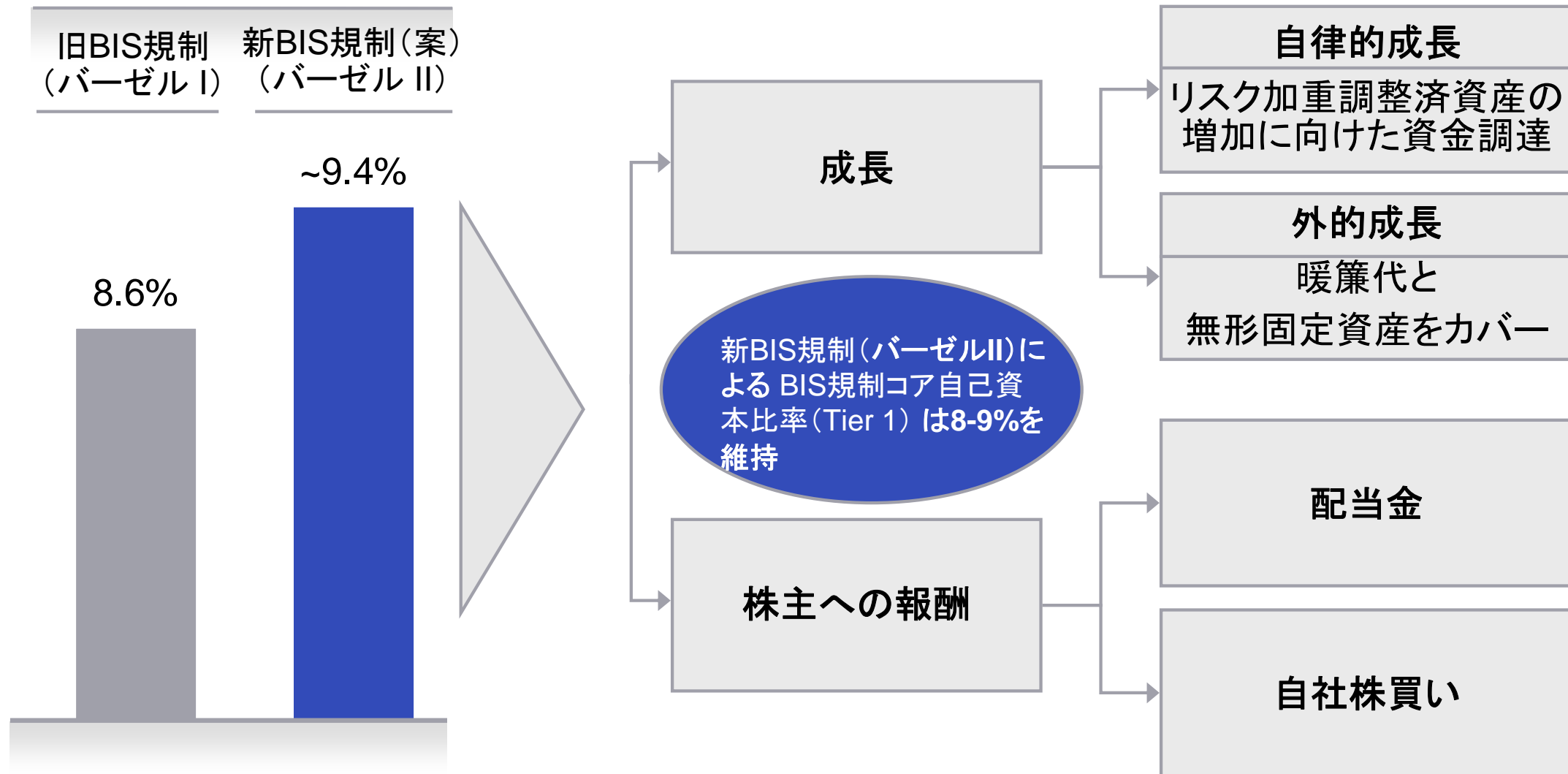
注: 2003-2005年の財務数値においては、米国会計基準(U.S. GAAP)に基づき、2006年以降は、国際財務報告基準(IFRS)に基づく。



新BIS規制(バーゼル II)の好影響に投資



BIS規制コア自己資本比率(Tier I)、2007年12月31日時点

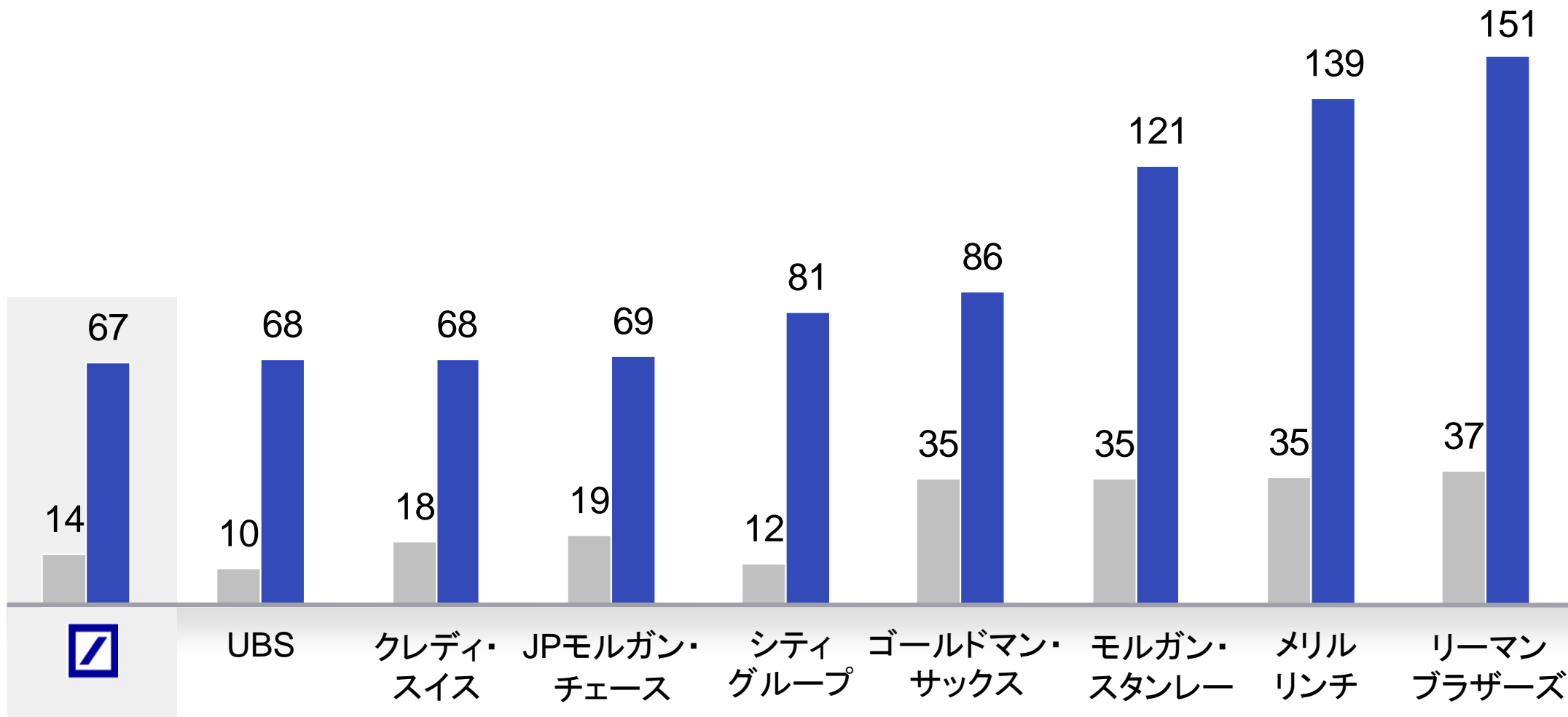




ドイツ銀行の資金調達コストにおける優位性

シニアCDS(期間5年)(単位:bps)

■ 2007年7月1日 ■ 2008年1月31日

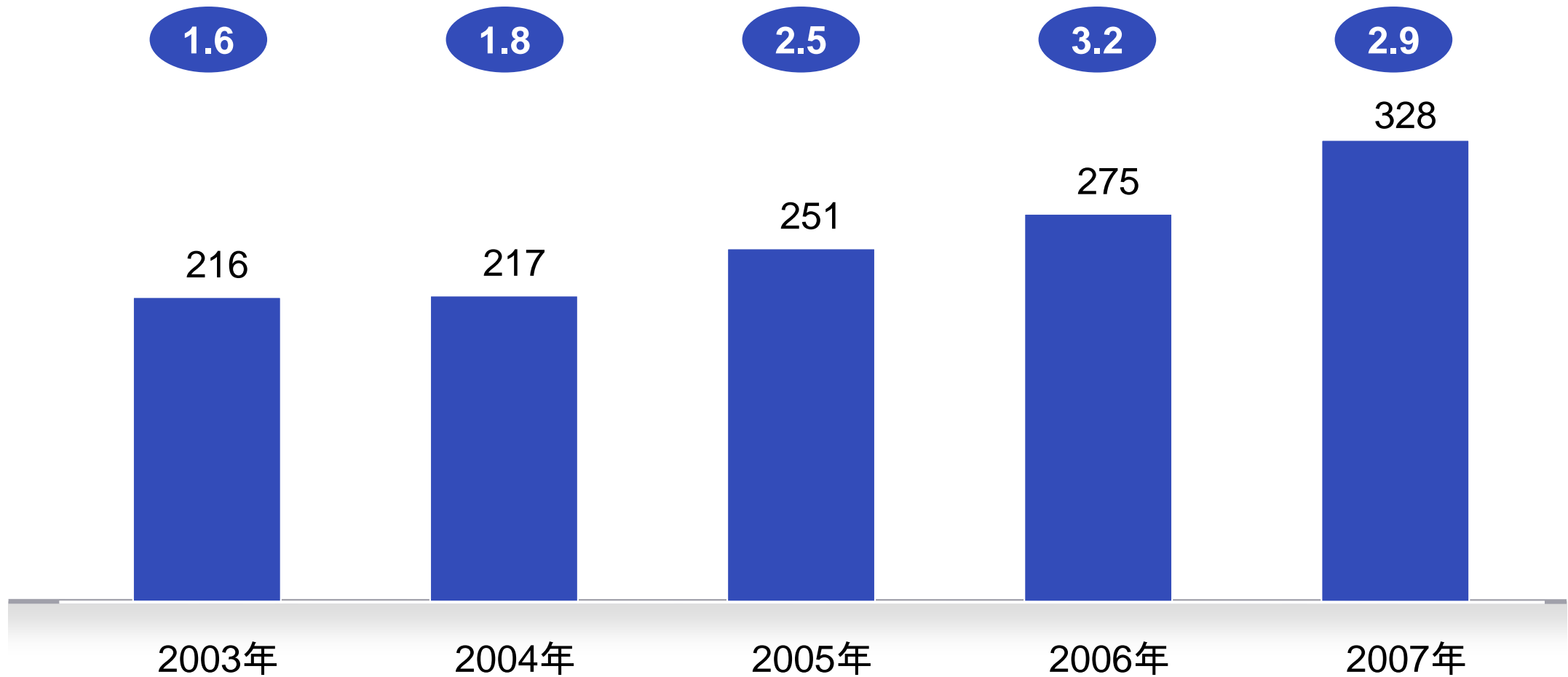




リスク加重調整済資産の増加を活かし、成長にむけた投資を



旧BIS規制(バーゼル I)に基づくリスク加重調整済資産、年末時点(単位:10億ユーロ)



X.X リスク加重調整済資産に対する利益* (%)

•2003-2005年:平均リスク加重調整済資産に対する基礎的税引前利益(RWA)の割合(%); 2003-2005年は米国会計基準(U.S. GAAP)に基づく。
2006-2007年:平均リスク加重調整済資産に対する税引前利益(RWA)の割合(%)



... 世界に広がる事業基盤

2007年と2008年において、買収と提携、そして自律的投資を実現

USA



- Aldus Equityへ出資
- コモディティー基盤構築
- HedgeWorksの買収

ブラジル



- 法人機関向けキャッシュ・マネージメント事業の開始

英国



- アビー・ライフ(Abbey Life)のポートフォリオ
- ティルネイ(Tilney)の統合
- ETFの開始*

ドイツ



- ベルリン銀行(Berliner Bank)買収完了
- ノーリスバンク(Norisbank)マーケット再開
- 中型株取り扱いの展開

ポーランド



- 支店網の拡大
- 消費者金融ビジネスの構築(db kredyt)

トルコ



- ガランティ銀行(Garanti Bank)の保管ビジネス

中東 / 北アフリカ

- イスラム銀行業務の開始
- ドバイ、リヤド、カタールでの事業展開
- アルジェリアのStrategicaへ出資

中国



- 華夏銀行(Hua Xia)とハーベスト・ファンド・マネジメントとの提携
- ドイツ銀行(中国)の現地法人化

インド



- 支店網の拡充
- デリバティブの基盤構築

ベトナム



- ハノイ住宅民間商業銀行(Habubank)との提携

台湾



- Far Eastern Allianceへ出資

*欧州とアジアにおけるETF(上場投資信託)
Investor Relations 02/08 - 12



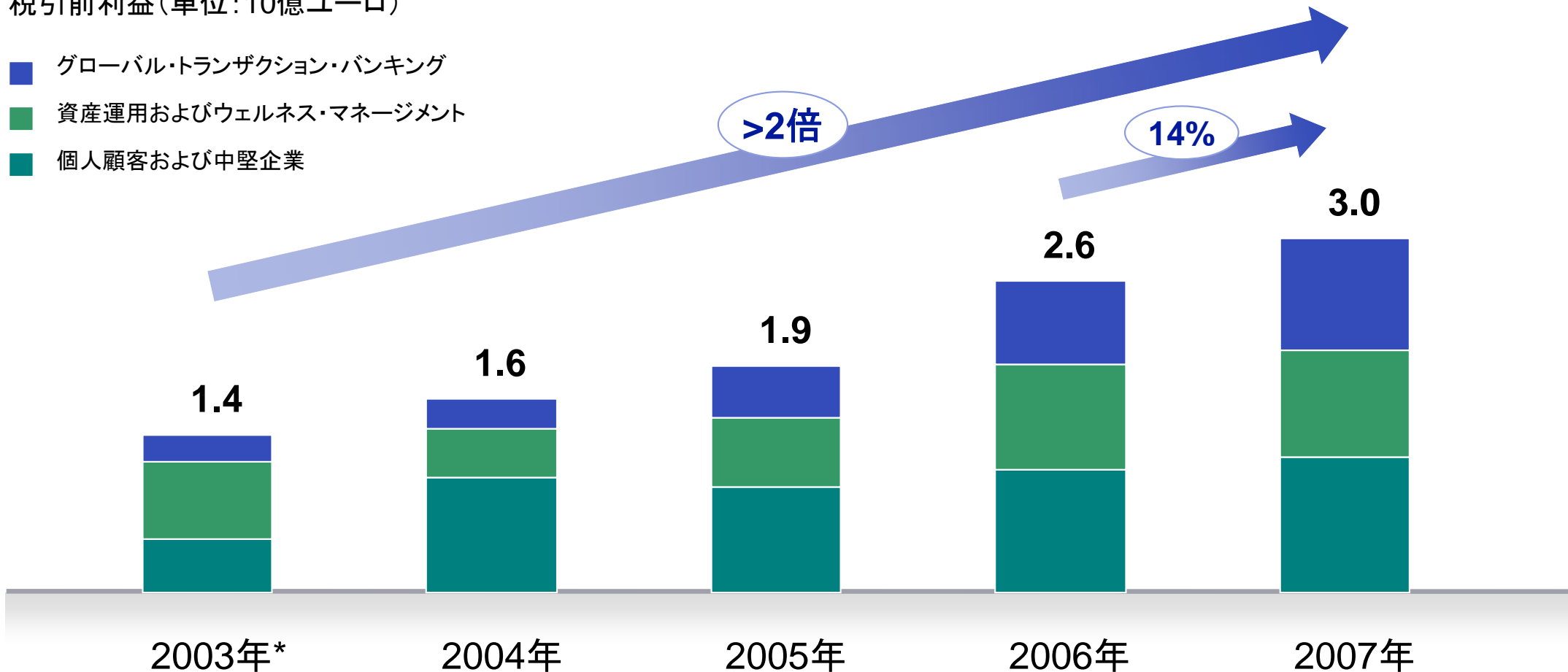


「安定」ビジネスの更なる成長: 持続性あるモメンタム...



税引前利益(単位:10億ユーロ)

- グローバル・トランザクション・バンキング
- 資産運用およびウェルネス・マネージメント
- 個人顧客および中堅企業

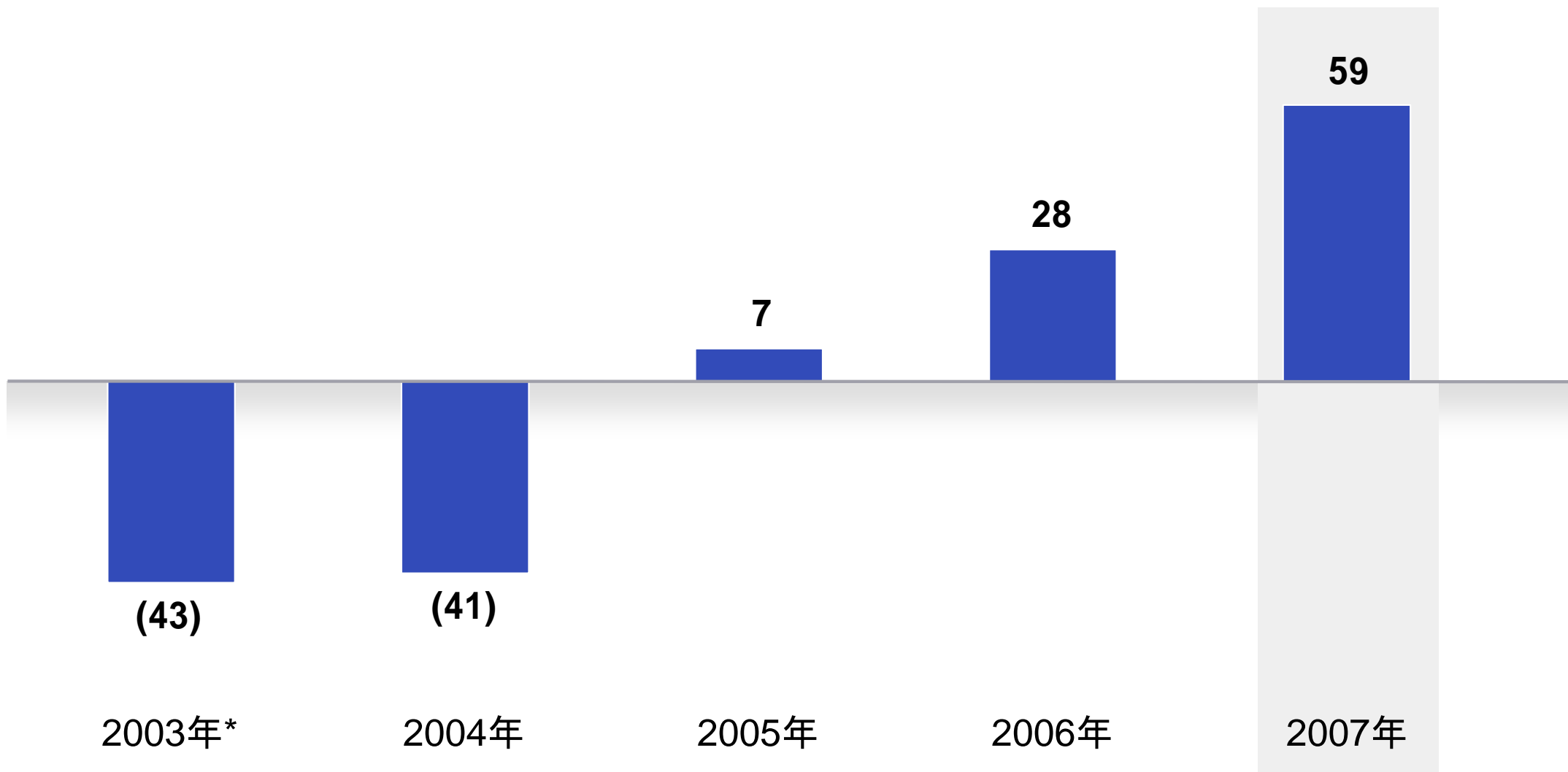


* グローバル・トランザクション・バンキングはグローバル・セキュリティーズ・サービス(GSS)の売却益の調整を含む
注: 2003-2005年の財務数値は米国会計基準(U.S. GAAP)に基づき、2003年の数値は2005年の会計基準、また2004年-2005年の数値においては2006年の会計基準に基づく。2006年以降においては、国際財務報告基準(IFRS)に基づき、最新の会計基準に基づく。



... 力強い新規純資金の流入

個人・資産運用ビジネス（単位：10億ユーロ）



•プライベート・ウェルス・マネジメントはRüd Blass用に言い換えられた表現ではない。
Investor Relations 02/08・14



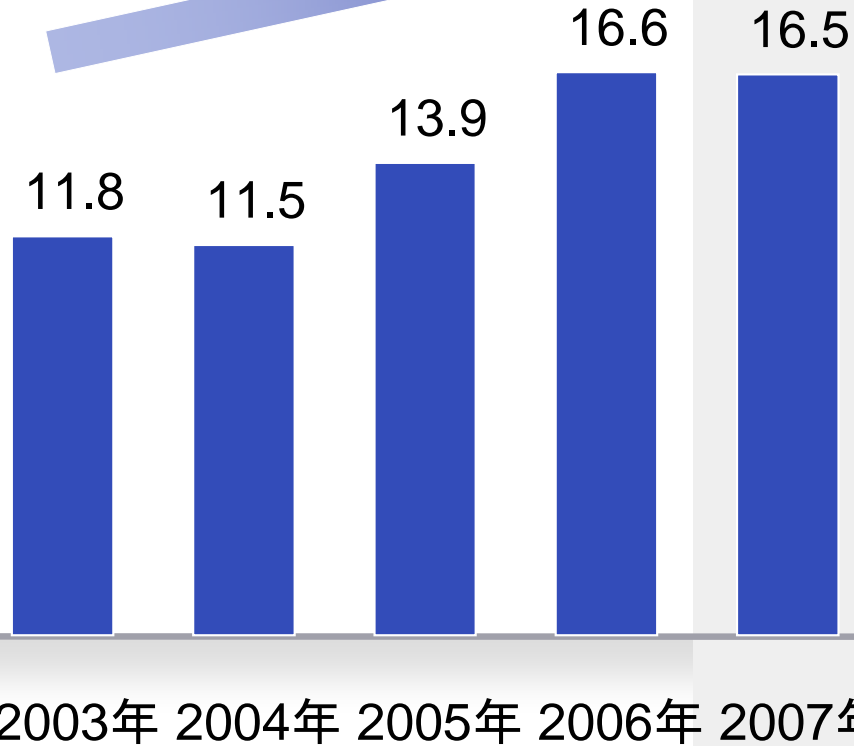
投資銀行ビジネスにおける競争力をもって前進

コーポレート・バンキング・アンド・セキュリティーズ
での持続的なモメンタム

堅固なビジネスモデル

純利益(単位:10億ユーロ)

年率9%



- マネージメントの定着 ✓
- 強固なリスク、および資本管理 ✓
- 多様な商品性、地域性、顧客層 ✓
- 強いグローバルネットワークと成長市場におけるプレゼンス ✓
- 資金調達先へのアクセス ✓

Note: 2003-2005年の財務数値においては、米国会計基準(U.S. GAAP)に基づくが、2003年のものは2005年時点における会計基準に基づき、2004-2005年においては2006年時点における会計基準に基づく。2006年以降についてはIFRSや最新の会計基準に基づく。



マーケットの混乱にも関わらず潮流はドイツ銀行にとって追い風に

| 外的環境 | 特徴 | ドイツ銀行グループの強み |
|----------------------------|---|--|
| <p>グローバル化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ エマージング(新興)市場の成長 ■ 地理的境界の消滅 ■ グローバル企業がローカル市場に 適応・浸透 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 各地域での事業の多様化 ■ グローバル・ネットワーク ■ グローバルな資本市場へのアクセス ■ 各国・地域での拠点展開/文化の尊重 |
| <p>資本市場の 発展</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 投資家の投資意欲の増大 ■ 革新性 / ストラクチャリング ■ 企業活動の活性化 ■ レバレッジ / リスク分配 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 投資銀行ビジネスでの主導的地位 ■ 世界クラスのセールス・トレーディング ■ コーポレート・ファイナンスでの躍進 ■ リスク管理 |
| <p>世界的規模での 運用資産の拡大</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 個人の退職年金 ■ エマージング市場での富の形成 ■ 新しい資産クラスへの資金移動 ■ 機関投資家の台頭 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 9,520億ユーロの運用資産 ■ 投資信託およびプライベート・ウェルス・ マネージメントのグローバルな展開 ■ オルタナティブ投資 ■ 緊密に連携した商品開発 |



将来の展望

第3段階の経営目標: 2008年の税引前純利益 84億ユーロ

| | 現状 |
|-------------------------------|--|
| コーポレート・バンキング・ア ンド・セキュリティーズ | <ul style="list-style-type: none">■ 2007年7月以降における環境の大きな変化■ 2008年においても不安定な経済状況が続く可能性■ 重点: マーケットシェアの獲得 |
| グローバル・トランザクシ ョン・バンキング | <ul style="list-style-type: none">■ 成長地域における安定した地位■ 金利レートに対する敏感性■ 重点: 業務レバレッジ |
| 資産運用および ウェルス・マネジメント | <ul style="list-style-type: none">■ 投資レバレッジと新規資金流入への資本投下■ PWMの目標達成は依然挑戦的■ 重点: 最近の投資や流入から利益抽出 |
| 個人顧客および中堅企業 | <ul style="list-style-type: none">■ 最近の買収への資本投下■ 自律的成長に対する継続投資■ 重点: 継続的投資による経常利益獲得 |



Cautionary statements

特段の記載がない限り、本プレゼンテーションで提供される財務情報は国際財務報告基準(IFRS)に基づいて作成されています。2007年度の最終的な財務報告書の準備に伴い、一部調整がなされる場合もあります。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、当行の考えや予想、およびその基礎となる前提を含みます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在ののものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生起した事象があっても、これをアップデートして公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、現実の結果を、将来の事象に関する記述に含まれる結果とは大きく異なるものにする可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の重要な部分を得ているその他の地域における金融市場の動向、借り手または取引相手による将来の債務不履行、将来の従業員削減を含む当グループの合理化の実施、当グループのリスク・マネジメントの施策、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会(SEC)への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2007年3月27日付年次報告書(Form 20-F)の「リスク・ファクター」(9から15ページ)の中で詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、またwww.deutsche-bank.com/ir からダウンロードすることができます。

本プレゼンテーションには、非国際財務報告基準による数値が含まれています。比較可能な国際財務報告基準(IFRS)による数値は、2007年第4半期決算報告書に付随している「2007年第4四半期補足財務データ」を参照してください。当該補足財務データは、www.deutsche-bank.com/ir からダウンロードすることができます。

